

## 55回生 入学式 4月6日



今年は男子学生12名を含め84名の仲間を迎えました



## 学校長あいさつ



皆さん、こんにちは。元気にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

今年もカープはセリーグ優勝しました!! 破竹の2連覇で、今後に予定されているクライマックス戦を軽く超えて、今年こそ全国制覇!!!と、カープファンならば意気込むのは当然で、クレカン卒業生の皆さんも同じ思いだと推察します。

さて、55回生の戴帽式では、“クレカン”という呉看護学校の略称について触れました。“クレカン”卒業生と語る先輩の誇らしい顔を思い浮かべ、その学校に学ぶ幸せを自覚することと立派な先輩に続こうとする心意気の大切さを説きました。病院運営方針キーワード『**LOVE and SMILES**』の和文対訳である『**和顔愛語**』が現在の“クレカン”学習のキーワードです。“クレカン”先輩の皆さんもこの『**和顔愛語**』を胸に更にご活躍されますことを願っています。

国立病院機構呉医療センター附属呉看護学校 学校長  
呉医療センター・中国がんセンター 院長  
谷山 清己

# 第52回学校祭

平成29年6月24日に第52回学校祭を開催しました。  
テーマは、「Realize ones ideals ～理想の現実～」です。  
たくさんの地域の方に来校していただき、呉看護学校での学校生活を知っていただく機会となりました。

## 54回生 学校祭実行委員長 石井 佑磨

今年の学校祭のテーマは「Realize One's Ideals ～理想の実現～」とし、呉看護学校の歴史や、学生一人ひとりの心の中に残るような学校祭を目指しました。学校祭当日、雨模様で足元の悪いなか、約300人の方が来場していただきました。屋台やバザー、お茶会や手浴・足浴や健康診断など普段学習している看護技術を提供させていただき楽しんでいただくことができました。そして、学生のためだけではなく地域の方にも楽しんでいただいていることを感じ非常に嬉しく思いました。学校祭を企画・運営することは大変でしたが仲間とのつながりを強めることができ、そして私自身このようにリーダーとなり一から運営を行いなにかを作り上げることを経験できたことが非常に貴重な体験となり、自信にも繋がりました。



# OPEN SCHOOL

7/15 (土)・16 (日) に全学年が携わるオープンスクールを開催しました。

参加者は、200名余りで、暑い中、熱心に看護学校ならではの看護技術体験や学校説明会、学校紹介、学生交流会、寮見学、進路相談等体験してもらいました。



## 昼食交流会を終えての参加者の感想

- ・学生のリアルな意見を聴けて参考になった。
- ・気さくに声をかけてもらい、楽しかった。
- ・一人の参加だったので不安だったが、楽しくてよかった。
- ・学生の説明はわかりやすかった。早く自分も専門的なことを学習したい。





# 呉看川柳(53回生)

- ・辛いけど やりがいいっぱい 毎実習
- ・実習で もらった手紙 宝物
- ・考える よりよい看護の 実践へ
- ・寝たいけど 朝日に迫る 記録物
- ・実習中 保たれていない QOL
- ・壁高き ともに乗り越え 純白の道へ
- ・実習中 検索履歴が 疾患名
- ・ありがたいや 実習ごとに増える 看護の師
- ・一安心 バイタルサイン 異常なし
- ・実習中 体重増減 人それぞれ
- ・報告時 動悸頻脈 頻呼吸
- ・お願いよ 急に退院 しないでよ
- ・1年生 戴帽式で 笑顔咲く
- ・無知は罪 国試へ向けて がんばるぞ
- ・実習中 必要不可欠 レッドブル
- ・世界中 みんな健康 ありがとう
- ・愛のある ご指導頂き 後で意味知る
- ・国試まで 頭駆使して 欲抑止
- ・コードブルー 見てる間は やる気出る
- ・疲れがぶっ飛ぶ 患者からの 「ありがとう」
- ・シャワー浴 介助の私も 汗だくに
- ・NICU 命の強さ 改めて知る
- ・ちよっと待て 愛の告白 インシデント
- ・深夜2時 部屋の明かりは いつまでも
- ・ありがたい その一言で がんばれる
- ・白衣来て ひとり一人が ナイチンゲール
- ・実習中 なぜか教室 恋しいな
- ・つらい時期 みんなで乗り越え 強くなる
- ・患者さん 「またね」と言われ つらくなる

## 第68回 スポーツ交流大会

### 2年 応援団 中光 朱音

今年の応援団は、例年の力強さを前面に押し出した振付を修正し、少し柔らかさを取り入れました。新しい振付で練習している間は、なかなかポーズが決まらなくて、これでもいいのかと悩むことも多かったのですが、練習を重ねていくうちに、形がぴたりとそろっていき、どんどん応援団として、成長していく実感がありました。「この新生応援団で、できるところまでやりきろう!!」という思いで臨んだスポーツ交流大会で3年ぶりに首位を奪還できました。



## 第10回 呉国際医療フォーラム

### 2年 前田 菜々子

学会に参加された外国の方々と言葉だけではなく表情や手振りでコミュニケーションを取ることができ楽しく宮島を観光することができました。また、海外の看護師の状況についても教えてもらうことができ、学習の一環にもなりました。外国の方々とはK-INTが終わった今も連絡を取っていて楽しくやりとりをしています。参加しなければできない貴重な体験です。思いきって参加して本当によかったと思いました。



### 2年 茶道部 福場なつみ

普段学校で教えていただいているお前を披露できる良い機会であると同時に、海外の方にお茶を飲んでいただくことで、日本の文化を肌で感じ、日本を知っていただく良いきっかけになったと感じています。またおみやげとして、折り鶴と黒文字入れ(和菓子を食べる時に使うもの)を渡した際には、とても喜んでいただけ嬉しかったです海外の方とコミュニケーションをとり、お茶を飲んでいただけたことはとても良い経験となりました。

## 1年生 宿泊研修

### 1年 高橋 雪乃

5月11日・12日、18日・19日に人間関係論の宿泊研修へ行きました。最初は決まった人としか一緒にいませんでしたが、授業を通して色々な人のことを知り、今まで話した事のなかった人達と仲良くなることができました。この2日間でクラスの絆を深めることができたので、これから3年間みんな頑張っていきたいです。



# 「皆さん、お元気ですか？」



7 A病棟

## 竹岡 瑞紀

私は看護師になり、働き始めて2年目になります。1年目は、初めてのことが多く、戸惑いや不安が絶えない日々を過ごしていました。振り返ってみると、いつも先輩

看護師が温かく見守ってくれていました。調べても分からないことがあれば丁寧に分かるまで教えてくれ、悩んでいる時は声掛けと一緒に悩み、失敗した時は一緒に振り返りを行ってくれたりと共に学び共に成長する姿勢で関わってくれました。今でも先輩看護師に支えてもらいながら、日々学び、スキルアップ出来るように頑張っています。これからも私を支えて下さった先輩看護師を目指して努力していきたいと思えます。



9 B病棟

## 清水 理恵子

私は9 B病棟に配属となり4年目となりました。血液内科は、突然の病名告知や緊急入院で不安を抱えている患者さん、入退院を繰り返しながら抗がん剤治療を受ける患者さんが多く

います。「病気を知った時は死のうかと思ったが、看護師さんに何気ない話をして気持ちが楽になった」と患者さんが話された時、とても嬉しく感じました。造血幹細胞移植を受ける患者さんを受け持つこともあり、長い入院期間を経て元気に退院された時にはスタッフ一同で喜びを分かち合っています。患者さんのことや仕事がうまくいかず悩むこともありますが、そんな時には看護師長や副看護師長をはじめスタッフに助けられています。



4 A病棟

## 姫宮 彩

私は産科婦人科・乳腺科のある4 A病棟で働いています。4 A病棟では新生児期から老年期と幅広い対象の中、生命の誕生から終わりまでより深い看護を学べる病棟です。日々入退院が

繰り返されるなか、化学療法を受ける患者さんの慢性期に関わることもできます。2年目でもなお、わからないことについてはしっかり指導をしてくれる先輩に恵まれ、明るい雰囲気の中で働くことができます。また新生児に癒されながら日々頑張ることが出来ます。ぜひ一緒に働きましょう！！



手術室

## 小川 梨沙

私は、呉医療センターの手術室で働いています。手術室は、患者さんの命に直接関わる場であるため、常に緊張感を持って手術に臨んでいます。手術室は特殊な環境であり、専門的な技

術・知識が必要とされ、戸惑うことも多くありますが、先輩方が一つ一つ丁寧に教えて下さったり、相談に乗っていただいたりと、心強い環境でやりがいを感じながら日々手術看護について学ぶことができます。また、明るい雰囲気の中で毎日楽しく頑張っています。

## 編集後記

卒業生の皆さん、お元気ですか？

皆さんは、忙しく過ごされているとは思いますが、「Kure 鯉 恋 こい」を開いて、学生時代を思い出し、少しでも”ホッコリ”して頂けたら嬉しいです。

私たちが4月から55回生を迎えて皆で協力しながら日々頑張っています。

編集長：伊藤 由紀枝

編集委員：1年生：高田 里帆・高橋 雪乃・佐々木 麻里

2年生：木川 皓太・佐賀 みほな・森岡 由羅・松本 亜美

3年生：金本 恵里佳・渡部 楓・道法 美優・小河 優佳



独立行政法人国立病院機構

呉医療センター附属呉看護学校

〒737-0023 広島県呉市青山町3-1 TEL.(0823)22-5599/FAX.(0823)22-5646

URL <http://www.kure-nh.go.jp> E-mail [kuregaku@sc.kure-nh.go.jp](mailto:kuregaku@sc.kure-nh.go.jp)